

SEOS便り

発行者 古谷 正実
編集者 石川 勝敏
他編集者 3名

平成最後！ 新事業年度の抱負

専務取締役 古谷 正実

社員の皆様！毎日の勤務お疲れ様です。新年度のスタートに当り、私の抱負を述べさせていただきます。

本年は、4月1日に新元号の公布があり、5月1日に新天皇の即位という大きな行事があります。真に新しい時代の到来です！まず、政治面は、4月に統一地方選挙と9月に参議院選挙があり、安倍政権の真価が問われるものとなりそうです。一方経済面は、春の10連休や9月のラグビーワールドカップ開催、また10月の消費税増税がどのような経済効果を生み出すかは未知数です。そして私達の業界もIT化・ロボット化・M&Aが更に進み、勝ち負けがより鮮明になってくると思われまふ。

このような環境の下、当社は新年度も「増収増益」の事業計画を次の事項を基軸として策定を致しました。

- ・損益分岐点の引き下げ（営業拡大と経費削減）
- ・荒利益の更なる改善（原価の削減）
- ・多能工化（一人三役）
- ・各支社・営業所の黒字化
- ・喫緊の経営課題としては
- ・優秀な人材の確保
- ・官公庁入札業務の完遂
- ・民間顧客への値上依頼

当社における人材は真に財産そのものです。その確保の手段として2年間「縁故募集」を継続しています。（2年間の実績・社員16名パート36名）本年も致しますので皆様！ぜひ御家族や御友人に声をかけてください。以上に掲げた計画を達成する為には、全社員が「我社を少しでも良くして行こう！」という連帯意識を共有することなのです。そしてそのリーダーとなる幹部の皆様には「自ら結論を出し自ら先頭に立ち実行する」姿勢を持って頂くことを切望致します。

皆様には右事項を御理解の上どうぞ御協力の程を宜しくお願い致します。



常務取締役 石川 勝敏

社員の皆様、日々業務に精励頂き誠に有難うございます。

さて、今月より新事業年度がスタートしておりますが、まず、昨年度を振り返ってみますと人手不足が解消できない現状が続いています。皆様のご協力も含め相応の採用実績が確保できたものの退職者が同等数あり、純増していません。本年度は、定着という全社共通のテーマを掲げて取り組むことが最重要課題と捉えています。

かかる状況を踏まえ後述の重点課題への取り組みを部門一丸となって厳しい市場競争を勝ち抜ける体制強化に邁進されるようお願い致します。

まず、GMCですが
一、横浜・埼玉・千葉は、新規受注と業務改善を本部と連携し果敢に断行し早急に赤字の解消を図るようお願い致します。

一、昨年は、臨時受注が好調に推移したことが目標達成の主要因ですが、将来的にも安定した売上を継続するには固定売上の確保が必須条件となります。すぐに効果は期待できませんが日々の地道な種蒔き活動を是非、実践されるようお願い致します。

次に、AGSですが
一、常駐保安部が圧倒的な利益貢献しているだけでなく、他部門への応援等で事業部全体を支えているのが現状です。この偏った体質から脱却するには、残る4部門が採用及び業績改善に全力を挙げて取り組む姿勢と実践が強く求められています。早急な対応をお願いします。

いづれにしても環境好転を期待せず社員一人一人が知恵と工夫と汗を出してこの難局を乗り越えていきましよう。ご尽力の程お願い致します。



取締役GMC事業本部長

兼施設部部長

白濱 実幸

平成31年、新事業年度がスタートしました。昨年度は大手管理会社からの管理物件の受注、また臨時大型工事案件の獲得により、予想を上回る売上、営業利益を達成することが出来ました。しかし、慢性的な人手不足は限界にきており、新規顧客はもとより、既存顧客のフォローも大変厳しい状況が続いております。

この様な経営環境の中、一人一人が生産性の高い働き方を実行していかなくてはなりません。そして最低賃金の上昇に関しては、取引先に対し丁寧に説明し、値上をお願いを継続的に進めております。この機会に更なる利益体質構築につなげて参りたいと考えています。また企業発展の要である人材の確保・育成を今年度も積極的に進めて参ります。



取締役AGS事業本部長

兼機械警備部部長

寺本 憲生

平成31年の新事業年度がいよいよスタートしました。昨年度AGSは、森ビル新規常駐物件の受注がありました。売上は僅かながら未達、営業利益に至っては大幅未達という結果になりました。これは、募集経費やインターン経費の増加、最低賃金上昇等の人件費の増大が大きな原因のひとつであります。こういった経営環境の厳しさは今年度も変わるものではありませんが、幸い一昨年から実施しております契約先との価格値上げ交渉も順調に進捗しております。

東京オリソピックを来年に控え雇用環境も更に厳しさを増しておりますが、「増収増益」という目標達成の為に利益率の高い営業拡大を図りつつ、また一方で、「人材」の確保と育成のために積極的な投資もして参る所存であります。本年度も「明るく、元気に、楽しく」をモットーに全力で事業に邁進して参りますので、皆様方のご協力を宜しくお願い申し上げます。



環境部部長兼千葉営業所長

斉藤 勝利

平成31年を迎え、平成として最後の年を迎える事となりました。環境部においては30年度も売上・利益共に達成出来そうな状況であります。5月からは新元号に変わり、新たな気持ちで部員一同、新目標に向って邁進したいと思っております。

しかしながら、近年の人員費高騰や労働力不足、募集経費やインターン経費も莫大な金額となり、利益を圧迫している状況であります。このような状況を打破し、目標である「増収・増益」を達成する為には、従業員の方々の協力無しでは達成出来ません。一人一人が、多能工化に取り組み、自分の為もしくは会社の為に、充実した日々を過ごして頂きたいと思っております。皆様のご協力、御尽力をお願い申し上げます。



横浜支社長代理 杉本 吉幸

昨年の4月から横浜支社に異動になりました。本社と比べますと、物件が広範囲にわたっているというのが最初に感じたことでございます。平成30年度は、臨時工事案件もあり売上達成、利益は大幅改善することが出来ました。



また、最低賃金の上昇に伴う人件費の負担増を少しでも軽減する為に、値上げ案を出し成功した物件も出ています。

平成31年度は、新規固定の獲得
既存顧客の維持及び改修工事獲得
値上交渉

この3点を軸にして参ります。また資格取得にも力を入れて複数取得している体制づくりを目指します。GMC・AGS共に目標を達成出来る様、一丸となって全力で取り組んで参ります。皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

埼玉支社長代理

白根 大輔

昨年度の埼玉支社は、GMCの売上・荒利益こそ目標を達成致しましたが、その他は全て目標未達に終わり、悔しい結果となってしまいました。このような現状をふまえ、今年度は、GMC・AGSともに更なる経費削減はもちろんの事、

新規業務の受注、
利幅のある業務の受注、
既存業務の維持、

以上の3点を最優先に、一日取り組んで参ります。それを具現化する為には、私以下全員が、まずはより一層の危機感を持つ事、そして、「当社の仕事は だから・・・」私の仕事は だから・・・といった、固定観念をいかに（どれだけ）捨てられるかが鍵になると考えています。

埼玉支社の発展は、埼玉支社で働く全員が力を合わせなければ到底成し遂げられません。皆様

のご理解・ご協力、心よりお願い申し上げます。



常駐保安部部長代理

田平 忠隆

平成31年3月、新事業年度がスタートしました。昨年度を振り返りますと、10月「新虎通りCORE」を業務開始しました。皆様のお蔭をもちまして、売上・営業利益ともに達成することが出来ました。有難うございました。常駐保安部という部門は、常に新規物件を獲得しなければならぬという使命を課せられていますが、現状は人員不足ということもあり、臨警も遣り繰りしながら急場をしのいでいる所です。このように現場の皆さんの支えがあつて成り立っており、お知り合いの方々をご紹介して頂ければ幸甚ですので、「ご連絡をお待ちしております」



今年の干支は「亥」年です。「猪突猛進」の四字熟語のように先ずは前へ前へと新規物件を獲得して参りますので、皆様方からの情報も含めご連絡をお願い致します。最後に上げますとともに、今後とも引き続きご支援ご協力をお願い致します。

経理部部長代理

荒井 克哉

平成31年、新事業年度がスタートしました。昨年度の経理部は人員の入れ替わりにより、業務をこなすことだけで精一杯の始まりでしたが、今年度は新たな仲間と共に経理部らしい目標を持ってスタートすることができました。新元号となる本年は事業部・支社・営業所の方々にとって有意義な情報を提供できる部門としてお役立ちできるよう頑張っております。



今年猪年ですので、「猪見て矢を引く」というような後手後手の対応にならないように、経理部一同「一竜一猪」を肝に銘じて、飛躍の年となるよう皆様と共に全力で業務に取り組んで参ります。よろしく願いたします。

総務部部長代理

横堀 彰彦

昨年度は、「楽しくなければ仕事じゃない」をモットーに掲げ、事業部の役に立つ総務部を目指し、部員一丸となつて業務に邁進してまいりましたが、少しはお役にたてたでしょうか。総務の仕事は多岐にわたり、その範囲もなかなか幅広いものです。総務の大きな仕事の一つに、社内の部署や支社等のサポート業務があると思います。従業員の皆さんができるだけ気持ちよく、本来の業務に専念できるように、いろいろな角度からサポートを行うというものです。ただ、決して大掛かりなことではなく、ちよつとした手間や気遣いなど、潤滑油的なものだと考えております。

今年度は、総務としての役割を今一度見直し、総務に求められる仕事の視点から、サポート業務に取り組んでいきたいと考えております。今年度も皆様のご協力を得ながら業務に取り組む所存ですので、ご理解ご協力のほどよろしく願いたします。



新事業年度 経営指針

平成31年度 グループ共通経営指針

21世紀社会への挑戦

- 革新と飛躍を求めて -

1. 「少子高齢化と世代シフト」に伴うマーケット構造の変化への対応
2. AI・IoT・キャッシュレス化の進化に伴い「スマホ」対応を強化
3. 企業の革新と飛躍に向けて
決裁・稟議の迅速化 本部集中から個別対応へ
組織のフラット化 人事の改革(教育・働き方・評価等)
4. 5つの具体的課題への取り組み強化
損益分岐点の引下げ 荒利益の更なる改善(率、額)
多能工化 営業時間の変更 勤務シフトの変更(在宅勤務)
5. 「首都直下型地震」「豪雨水害」「停電」等の災害対策を強化

湯島天満宮 節分祭



当社のお客様でもある湯島天満宮で、2月3日に節分祭が開催されました。当社からも毎年男女、年女の方に豆まきに参加していただいております。今年は以下の方々が参加されました。

当日は天気も良く、たくさんの参拝者に向けて豆をまいて邪気を払い、今年一年の無病息災を願いました。



後列左から
 施設部：田邊さん
 常駐保安部：黒澤さん
 横浜支社：田中さん

前列左から
 常駐保安部：安藤さん
 施設部：坂原さん
 常駐保安部：鳴海さん

